



# 子育ての ココが聞きたい!

VOL. 3



皆さんは何歳から本を読んでいたか? きっと字が読めるようになる前から、絵本には触れていたのではないのでしょうか。

私が絵本に触れた1番古い記憶は、3歳の頃の、寝る前の父との読み聞かせの時間です。いつも仕事で帰りが遅かった父でしたが、たまに寝かしつけに絵本を読み聞かせてくれることがありました。私はその時間が大好きでした。

今は、スマホ等で動画を見ることが当たり前になっているので、家にいる時間を動画を見て過ごしているという子どもも多いでしょう。私も、忙しい時には子どもに動画を見せて、つい“子育ての代役”のように使ってしまうことがあります。もちろん動画でも“物語を楽しむ”ということはできますが「絵本の読み聞かせ」には別の“魅力”があることを、普段から子どもたちや保護者に向けて「絵本の読み聞かせ」を行っている子育て支援センターの先生が教えてくれました。まず「読み聞かせ」は「親子の愛着関係を育む」ということです。パパ、ママの膝

に抱かれて「物語」を楽しむ時間は、子どもにとって何事にもかえられない幸せな時間です。安心感に包まれ幸せそうな表情を浮かべる子どもを見て、親もまた幸せな気持ちを抱くでしょう。お互いに心地良い時間を共有することで親子の愛着関係がより良いものに形成されていきます。

もう一つは、非現実を疑似体験できるようになることです。様々な物語を聞くうちに、読んでいる人の声色によってハラハラ、ドキドキと高揚したり、嬉しい、悲しいなどの気持ちを感じられるようになっていきます。また読み聞かせだからこそできる大人と子どものやりとりから、登場人物の気持ちを想像したり共感したりすることを覚えていきます。友達に優しくしたり、協力しようとするコミュニケーション能力が身についていくのです。

ぜひこれからも、絵本を通して子どもとの有意義な時間をつくり、子どもの育ちの道しるべとしていきたいですね。

保育士・保育コンサルジュ 太幡英輝

## 子育て支援センターだより (12月)

子育て支援センターは就学前のお子さんと保護者の方が気軽に参加できるサロンです。

1歳未満のお子さんでも大歓迎です!

- 6日(水) のびのび広場 リズムあそび
- 13日(水) のびのび広場 乳幼児栄養相談
- 20日(水) あそびの教室 おたのしみ会

家でできるお子さんの発育を促す楽しい遊び方や、日ごろの生活内容相談など、子育て支援センター職員が親身になってお話しします。お気軽にお電話ください!

※時間は全日午前10時～11時30分です。  
※利用時間は午前9時～午後4時です。

問合せ 子育て支援センター ☎82-0601